

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.9

平成 28 年 4 月 29 日

- 【派遣日程】 4月22日（金）～4月24日（日）
- 【報告者】 宮崎県 比佐 恭子
- 【メンバー】 22～23日 草場 郡之，水元 英彦，比佐 恭子  
23～24日 増田 恭之，長友 学，関谷 昭雄，比佐 恭子
- 【派遣先】 広安西小学校，エミナース救護所
- 【活動内容】 4月22日10時30分頃、熊本県薬剤師会入り。その後、エミナース避難所入り。熊本県薬剤師会の指示を受け、草場・水元両名は広安西小学校へ移動。比佐はエミナース救護所にてそれぞれ活動。
- 救護室では、医療用と市販医薬品の発注による補充と整理（発注はほとんど熊本県薬・中村先生が頑張ってくれた）、他の避難所への払い出しとその記録、救護所の医薬品リストの更新、午前と午後に避難所の館内外のトイレの手洗いせっけんと速乾式消毒薬の補充と手洗いの仕方のポスター貼りをするのしながらの見回り、トイレ掃除担当者がバケツを持って消毒薬を取りに来る時は消毒薬を配布しながら作り方の説明、10時から16時半くらいまで日赤の仮設診療所が開いている間は、災害用処方箋による調剤も行った。日赤の診療が終わってからは、24時間対応で救護室にやってくる方の対応を行った。大抵はその場で薬をお渡しするが、市販薬にて1～2回分を目安にした。その対応時の記録もつけた。
- また、看護師さんによる朝6時と夜21時の避難所の巡回があり、それは草場と増田が同行した。
- 4月23日は、熊本医師会によるエコノミークラス症候群の予防のための診療が、救護室にて18時～20時半頃まで行われ、その事前の聞き取りを手伝った。
- 4月22日の夜間の対応は、山口県薬剤師会と宮崎県薬剤師会と熊本県薬剤師会が交代で仮眠をとりながら行った。4月23日の夜間は、宮崎県薬剤師会と熊本県薬剤師会が交代で行った。
- また、朝7～8時と夕方6時の全体ミーティング、午前9時半と午後3時半の医療者ミーティングへも参加した。
- 4月22日は、避難者が14時からの体操を行っている間に、看護師・保健師・ボランティアの方達と避難スペースの清掃にも参加した。

以上、その場で気づいた事は出来るだけ素早い対応を心がけ、避難している方がこれ以上辛くならないように気を使い、日赤の方々に出来るだけ協力し、避難所が衛生的であるようにみんなで気を配ったつもりです。  
また、熊本県薬剤師会の中村先生にはとてもお世話になりました。ありがとうございました。  
短い間でしたが、少しでもお力になればと思った2泊3日でした。

- 
- 【派遣日程】 4月25日（月）～4月26日（火）
- 【報告者】 福岡県 杉本 奈緒美
- 【メンバー】 深町 潤, 安河内 裕紀, 杉本 奈緒美
- 【派遣先】 嘉島町民会館
- 【交通状況】 8:00 久留米市東町出発→9:30 熊本県薬剤師会到着  
→10:30 熊本県薬剤師会出発→11:00 嘉島町民会館到着→昼食  
→11:30 モバイルファーマシー到着  
月曜日のためか、熊本市内に若干の渋滞あるも、比較的スムーズに移動出来た。
- 【ライフライン】 電気、水道は復旧、ガスの復旧は不明だが近くのコンビニ、イオンの一部、飲食店は再開しているため問題はないと推察、トイレは町民会館の中を使用する。自衛隊のお風呂設置あり。町民会館はひずみがあるようでそのためか、避難所にはなっていない。ボランティアの休憩、寝所はなく、モバイル車の中で食事休息をする。睡眠は車中とした。（自衛隊テントの一部を借りることもできるようではあったが、我々は車中泊とした。）
- 【活動内容】 自衛隊救護部、医師の診察の元発行される災害処方箋に基づく調剤、服薬指導。被災者の相談にそった OTC 薬の配布。避難所の感染予防対策。近隣の医院、薬局がポツポツと診察を開始したり、開局したりしてきているので、救護部も慢性疾患の患者の診察及び投薬はなるべく地元の病院に行くように説明し紹介を行なっていく方向になったため、薬剤師側も同じ対応を取るようながれとなっている。モバイル車内の医薬品の種類は増やさないようにしていき、在庫がない場合は、近隣薬局を探し、在庫確認と紹介業務をおこなった。雨風などによりモバイル車周辺の衛生管理も行った。
- 4月25日（月）  
11:30 鹿児島県薬剤師会チームとの引継ぎ開始。

近隣病院、薬局が空いてきている為、定時薬はなるべく病院・医院にて診察を受けられるように誘導していき、調剤もなるべく薬局にて調剤を行ってもらえるよう、開局時間、在庫確認などの支援を行う。

基本、緊急時（風邪、ねん挫やけが等）診察対応に対する処方箋調剤を行う。

モバイルファーマシー内にて自衛隊救護部発行の災害用処方箋の調剤、患者への服薬指導開始。モバイルファーマシー内の在庫品目は上記理由によりなるべく増やさず、在庫していない薬が処方された場合は、近隣薬局に問い合わせ後、紹介する。

引継ぎ後の処方箋枚数 16 枚→うち 2 枚は在庫していない薬のため近隣薬局へ依頼。

13:00 広島薬剤師会チーム 2 名で近隣の避難所（6 箇所）を回り、感染予防のためのトイレ掃除、便秘をしている避難者への便秘薬（コーラック）配布等を行った。

17:00 自衛隊救護部診察終了のため、モバイルファーマシーでの業務終了、1 時間ほど待機後業務終了となる。

○4 月 26 日（火）

7:35 自衛隊救護部診察開始前で DR 不在のため、OTC 薬にて対応  
夫婦で相談：

（妻）転んで右わき腹をうって痛みあり

（夫）脊柱管狭窄症と言われ、MRI 検査を受ける予定にしていたが、地震で受ていない、右足がしびれている。

痛みが強くなる、しびれ感が強くなる時は受診するようにお伝えする。

8:35 家の解体のため、ハンマーを使い過ぎて腕が痛い→DR 不在のためバンテリンパップ 6 枚お渡し。

8:30～ モバイルファーマシー周辺の掃除、枯葉処理

10:15 災害処方箋に 3 種類＋イソジンガーグル処方 診療所よりイソジンの在庫確認有、OTC のみ在庫がある事を報告、それでいいとの事で、イソジンガーグルのみ OTC 薬で対応

10:45 災害処方箋に風邪薬＋うがい薬処方 診療所より OTC 薬対応 OK の返事あり、コルゲンうがい薬プラスで対応

11:30～ OTC 薬在庫確認、整理

12:45 今朝から頭痛がひどいと本人(夫)家族が相談、風邪ではなさそう、熱などはないとの事で、本人ではないので詳細分からず、パファリンで様子を見てもらう事にする。

12:50 便秘が 3 日間続いている。便秘は初めて、今までは問題なかったと

の事、コーラックをお渡しし2T服用から調整するように説明。  
13:00～ 深田、安河内、福永（広島県薬）で嘉島東小学校のトイレ巡回  
13:00～ 杉本 OTC 薬リスト作成  
14:00～ 岩本（広島県薬）OTC 薬配布、相談、お渡し手順書を作成  
15:00～ モバイルファーマシー周辺ゴミ収集、回収  
15:30 福岡県筑後ブロックチーム業務終了

- 
- 【派遣日程】 4月26日（火）～4月27日（水）
- 【報告者】 福岡県 楠本 哲也
- 【メンバー】 満生 清士, 坂本 直大, 井上 智博, 楠本 哲也
- 【派遣先】 益城町総合体育館
- 【交通状況】 交通手段：車（レンタカー）  
往路：福岡市薬剤師会館（7：30）→福岡 IC～益城熊本空港 IC（途中植木 IC 付近渋滞あり：一般車両終点のため）→熊本県薬剤師会館（9：50）  
申し送り実施後→益城町総合体育館（12：10）  
復路：申し送り終了後 益城町総合体育館出発（13：30）  
→益城熊本空港 IC～大宰府 IC→福岡市薬剤師会館（15：30）
- 【ライフライン】 電気のみ復旧
- 【活動内容】 お薬相談コーナー（OTC 対応）、調剤業務、医薬品発注、ノロ対策（消毒薬調整、ボランティアへの清掃指導、炊き出し前の手の消毒）、エコノミークラス症候群への注意・予防、環境検査（照度、二酸化炭素、粉塵、騒音の測定）
- 【状況】 調剤業務は熊本県薬剤師会の備蓄で調剤、一部日赤のストック品で対応する。診察は日赤2チーム、国立病院機構1チームの計三診体制。受付時より一名の患者様に一人の薬剤師が同行、診療時 Dr に備蓄リストみながら診察に対応、その後調剤業務、服薬指導と最後まで対応。また定期薬服用の患者様にはGWも間近なため、かかりつけ医の受診を勧める（すでに再開している診療所もある。益城町病院、診療所の再開リストを使用）  
お薬相談（OTC）では健康相談からOTCの小分け配布、服薬指導。診察が必要と思われる方には受診勧奨する。また翌日にはエコノミークラス症候群の注意声掛け、予防として弾性ストッキングの装着を勧める。  
ノロウイルス感染症の予防対策とし消毒薬調整。清掃ボランティアに対しエプロン、手袋の脱着手法指導・トイレ消毒指導・ドアノブの消毒指導。炊き出し時のアルコール消毒の噴霧手伝い・指導。

室内環境検査として照度・二酸化炭素・粉塵・騒音の測定（天候として雨などもあり室内の環境悪化も懸念される）

- 【概要】** 本日より業務終了後、22時以降薬剤師会の全体ミーティングが中原靖明山口県薬剤師会会長指揮官の下30分程度行われた。日々状況が変化していくので今後もミーティングで出た問題点を含め、徹底した引継ぎが必要と思われる。また薬剤師会の活動に関しても国立病院機構より「非常に助かっています。今後もサポートお願いします。」との連絡があったようだ。
- 調剤業務に関しては、26日より診療時間が午前9時～午後10時までとなる。26日128名の受診があり8割方の調剤であったと思われる。処方数約100枚。処方も三日程度と短期のため再診される方も出てきている。備蓄医薬品の中にはGE医薬品でメーカーが複数混在するなどしており、お薬手帳を忘れる方もいるので引継ぎでカルテへのメーカー名記載をお願いする。
- また温度管理もできないためインスリン製剤(冷所保存)の備蓄を廃止する。受診に関しては狭いテント内で患者様が一時的に集中し「診察を待たれている方、お薬を待たれている方の見分けがつかないのでどう対応したらよいかわからない」と国立病院機構より申し入れがあり、診察待ち札(番号付き)・お薬待ち札(番号付き)を簡易的ではあるが作成し、本日より運用となる。
- 日赤より薬剤師会の支援活動に対し感謝の弁があった。
- 薬品保管に関しては、天候が雨のため27日にはテント内への雨の浸潤があり、シップの箱の底が濡れるなどあり対策が今後必要と思われる。
- お薬相談コーナーでは管理台帳の記載が不便(クリアファイル使用)であり、福岡市薬剤師会よりクリップボード持参。今後も継続しての使用。運営時間も一部改正。午前8時～午後10時ではあったが体育館の照明が9時45分から段々暗くなるため(就寝時間のため)、27日より9時45分を終了の時間に変更した。
- ノロウイルス感染症の予防対策は徹底しているが、今後大雨など天候の変化もあるので、感染が起こらないよう今後も徹底した指導が必要と思われる(屋外の仮設トイレが三か所あるが館内と土足での出入りであるため)

- 
- 【派遣日程】** 4月26日(火)～4月27日(水)
- 【報告者】** 福岡県 横通 佑典
- 【メンバー】** 矢野 恵, 前田 恵子, 横通 佑典
- 【派遣先】** 益城総合体育館

- 【交通状況】 車（往：4/26 レンタカー8：30 出発 久留米インターから益城熊本空港インターへ 10：00 熊本県薬剤師会館から申し送り実施後、益城総合体育館へ（神水付近でやや渋滞あり） 12：15 着）  
（復：4/27 申し送り終了後 13：30 益城総合体育館から益城熊本空港インターへ→久留米インター→レンタカー店 15：20 着）
- 【ライフライン】 電気○、ガス○、下水×、駐車スペース△、飲料水○、  
宿泊スペース（倉庫兼ミーティング用のテント、救護所、車中泊にてスペース確保可）
- 【活動内容】 救護所での調剤業務、おくすり相談カフェにてOTC薬で対応可能な方へのOTC薬配布と説明、設置消毒薬の残量確認、炊き出し時の手指消毒、環境測定（室温、湿度、騒音等）、開院している病院の状況確認、またかかりつけ病院が復旧していない方への代替病院の案内等。